



2026年 5月29日

各 位

会社名 株式会社アクセルスペースホールディングス
代表者名 代表取締役 中村 友哉
(コード番号：402A 東証グロース市場)
問合せ先 取締役経営管理本部長 折原 大吾
(TEL. 03-6262-6105)

2026年 5月期 第3四半期 決算説明会及び決算発表後に 投資家の皆さまより寄せられたご質問及び回答内容公開のお知らせ

平素より格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

投資家の皆さまよりお寄せいただいた多数のご質問につきまして、当社の方針に基づく回答を以下のとおり公開いたします。ご質問の時点と回答内容に若干の差異が生じる場合がございますが、情報発信の透明性向上およびフェア・ディスクロージャーの観点から、今後も継続的な情報公開を行ってまいります。

なお、当社では決算情報の漏洩防止および情報の公平性確保を目的として、各四半期決算期末日の翌日から決算発表日までの期間を「沈黙期間」と定めております。この期間中は、決算に関するご質問の回答やコメントを控えさせていただきますので、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

ただし、沈黙期間中であっても、投資判断に影響を及ぼす重要事象が発生または決定された場合には、適時開示規則に則り、公平かつ迅速に情報開示を行ってまいります。

【注意事項】

当社ウェブサイト等を通じていただいたご質問には順次ご回答しておりますが、以下に該当する投稿につきましては、誠に恐縮ながら回答を差し控させていただきます。あらかじめご了承ください。

- ・非公開情報に関するお問い合わせ
例：足元の業績動向、将来の開示内容・開示予定、個別の商談状況、展示会の出展予定、公募案件への応募状況、各衛星の稼働状況、公表前の人工衛星及びロケットの打上げ日時、衛星の開発・製造状況など
- ・金融商品取引法 第166条「重要事実」に該当する可能性のあるお問い合わせ
- ・株価動向等株式市場の値動に関するお問い合わせ
- ・誹謗中傷が含まれるお問い合わせ
- ・ご意見やご感想

当社からご提供する回答内容につきましては、当社の許可なく、その一部または全部を転用・二次利用し、お問い合わせいただいたご本人以外に開示することは、固くお断りいたします。

【ご質問及び回答内容】

1. 事業に関するご質問

Q1 防衛省が公募している「衛星コンステレーションの整備・運営等事業」を受注されていますが、提供できるだけの衛星の撮影能力（キャパシティ）は十分にあるのでしょうか。

A1 現状の衛星運用計画・撮影体制の中で十分に対応可能であると考えています。また、当社グループは、防衛用途・民生用途双方で活用可能なデュアルユースを前提として衛星運用を行っており、防衛省向け以外の撮影需要にも十分対応可能な体制を確保しています。

ご参考：当社開示資料

2026年5月期第3四半期決算補足説明資料 13ページ

<https://ssl4.eir-parts.net/doc/402A/tdnet/2790731/00.pdf>

Q2 次世代観測衛星「GRUS-3」の打上げの時期はいつですか、また7機同時に打上げるのでしょうか。

A2 GRUS-3の衛星7機は、2026年7月以降に7機同時に打上げを予定しています。打上げミッション管理、衛星統合、展開サービスにおける世界的リーダーであるExoLaunch社を通じて、相乗りミッションTransporter-17に搭載され、米国カリフォルニア州のヴァンデンバーグ宇宙軍基地から打上げられる予定です。

ご参考：当社開示資料

アクセルスペース、次世代地球観測衛星「GRUS-3」を2026年7月以降に打ち上げ（2026年4月21日付公表）

https://www.axelspace.com/ja/news/grus-3_launch/

Q3 Axelliner Laboratory (AL Lab) 事業の進捗を教えてください。

A3 Axelliner Laboratoryでは、衛星に搭載する機器を製造するお客様向けに軌道上実証機会を提供しております。複数の案件が順調に進捗しており、2026年にシナノケンシ社と共同開発したリアクションホイール、2027年にPale Blue社の小型ホールスラスターの軌道上実証サービスの提供を予定しています。また、2026年4月には、Axelliner Laboratoryの提供に関する基本協定書を国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）と締結しました。

ご参考：当社開示資料

宇宙業界への新規参入を支援する「Axelliner Laboratory」が描く、次なる成長戦略（2026年2月27日付公表）

<https://note.com/axelspace/n/n04254485b77b>

Axelliner Laboratoryの提供に関する基本協定書をJAXAと締結（2026年4月21日付公表）

<https://ssl4.eir-parts.net/doc/402A/tdnet/2792952/00.pdf>

Q4 中東情勢による事業への影響はありますか。

A4 現時点において、中東情勢による当社サプライチェーンへの影響は限定的であり、Axelliner事業のプロジェクト進捗への影響はありません。また、AxelGlobe事業においても、中東地域における撮影ニーズの大きな変化は確認されておりません。

2. 2026年5月期の業績に関するご質問

Q1 業績予想を修正した理由の詳細について教えてください。

A1 Axelliner事業における売上減少の主な要因は、主要プロジェクトである「Kプログラム」において、一部の高額部材の納入がメーカー都合により遅延した結果、売上計上時期が後ろ倒しとなったことによるものです。これは納入時期の変更によるもので受注金額の総額に変更はないため、翌期（20

27年5月期)には概ね回復できる見通しです。また、AxelLiner事業のAL Labについては、当期に見込んでいた一部案件の組成及び契約締結が翌期以降に持ち越しとなる見通しとなったことから売上高予想が減少することとなりました。AxelGlobe事業における売上減少については、主に海外案件において、顧客側の事情により案件が消滅したことが要因です。

ご参考：当社適時開示資料

2026年5月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ（2026年4月14日付公表）

<https://ssl4.eir-parts.net/doc/402A/tdnet/2790732/00.pdf>

【ご参考】

2026年5月期 第3四半期決算説明会および決算発表後に公開された当社関連情報について、下記のとおりご案内いたします

決算説明会 書き起こし

2026年5月期 第3四半期決算説明会 ご説明及び質疑応答

ログミーFinance「アクセルスペースHD、「GRUS-3」の製造・開発は順調に進捗 受注残高は548億円に到達」（2026年5月13日付公表）

<https://finance.logmi.jp/articles/384311>

当社noteの公開記事



事業関連	
AxelGlobe導入事例 雲が多い海域の島をGRUSにより撮影 (2026年4月22日付公表)	https://note.com/axelspace/n/na2231afa20dc
AxelGlobe導入事例 小面積の農地をGRUSデータで判別 (2026年4月28日付公表)	https://note.com/axelspace/n/n14938ca30d53
日本から飛び立つ鶴の群れ 次世代地球観測衛星GRUS-3とは 次世代地球観測衛星開発者インタビュー vol.1 (2026年5月8日付公表)	https://note.com/axelspace/n/n944c3bccb7a7

品質を高め、納期を守る 次世代地球観測衛星GRUS-3開発の流れ (2026年5月14日付公表)	https://note.com/axelspace/n/n3e4401e31589
「まあ1機ぐらい」は絶対はない 次世代地球観測衛星GRUS-3開発の現場 (2026年5月25日付公表)	https://note.com/axelspace/n/nb632c2ad35c5
IR関連 (マガジン : https://note.com/axelspace/m/m7f372ae606c8)	
アクセルスペースってどんな会社?初めての方におすすめの発信をご案内いたします。 (2026年5月22日付公表)	https://note.com/axelspace/n/n9ed29a85e561
売上が一度静まり、受注残高は約7倍へ——政府系案件が動いた四半期の、収益のリズム (2026年5月27日付公表)	https://note.com/axelspace/n/nc36b59ade9f5

松井証券 マネーサテライト「社長に聞く」出演 (2026年4月24日公開)

動画

<https://www.matsui.co.jp/money-satellite/movie/investment/venture/mv-20260424-c01.html>

以上